



平成28年度 赤い羽根共同募金助成 ありがとうメッセージ集

～きずなのまちづくり助成事業～



この報告集は「赤い羽根共同募金」の支援を受けて発行しています。

きずなのまちづくり助成事業とは

この助成事業は、社会福祉法人登別市社会福祉協議会と共に福祉のまちづくりを積極的に取り組む団体が、市民のための福祉活動計画である登別市地域福祉実践計画「きずな」の趣旨に賛同し、その趣旨に基づいて実施する事業及び活動に対して、共同募金の支援を受け助成することで「きずなのまちづくり」を進めることを目的とした助成事業です。

平成28年度は、28団体30事業から申請があり、平成28年4月1日～平成29年3月31日の間に実施する事業に対し、総額1,101,000円を助成金として交付しました。

この報告書では、助成金を活用して行った事業の成果と募金寄付者へ向けた感謝のありがとうメッセージを掲載しています。

助成事業の概要

対象者 きずなのまちづくり事業を行う次の団体。

・市民が主体的に取り組む活動を推進していて、活動の拠点を登別市内におき、1年以上の活動を行なっている団体

※ただし、1年に満たない、もしくはこれから活動を開始する団体は、その活動内容が先駆的で且つ活動による効果が特に期待できると認められる団体。

対象事業 次に掲げるきずなのまちづくり事業。

- 1.市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み
- 2.市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み
- 3.福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み
- 4.きずなづくりを進めるための多様なネットワークづくりのための取り組み
- 5.地域福祉を支える社協の基盤強化のための取り組み

※本会がすでにきずなを推進する事業として実施している、小地域ネットワーク活動・ふれあい会食会・ふれあいサロン事業は除きます。

助成対象経費

助成対象経費は、事業に必要な経費とします。ただし、次の経費は除くものとします。

・飲食費・報酬・人件費・備品・機材等の購入費・保険料・研修旅行費・高額な交通費など

※なお、事業内容によって特に必要と認められるものは対象経費とします。

助成金総額・助成金額

助成金総額は、当該年度の予算範囲内です。

助成金額は、対象経費の4分の3以内で、10万円を限度とします。

①市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

視力障がい者への理解を深める啓蒙事業	P1
「障害者週間」記念事業を通じた障がいに対する理解と交流を深める事業	
肢体不自由児への理解と地域参加を図るための交流事業	P2
障がい児とその家族の交流する場づくりと子育て相談サポート事業	
手話交流会開催のための事業	P3
知的・発達障がい者の社会参加を見すえた余暇活動・ボランティア育成事業	
知的・発達障がい児者の卒業や成人を祝う交流事業	P4
障がい者への理解を求め、市民との絆を深めるバリアフリー実践学習事業	
心身障がい児者の理解を深める為の交流と広報事業	P5
手話学習会を通じた聴覚障がい者との交流事業	
精神障害者への理解を深める交流事業	P6

②市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

男の料理教室事業	P6
犯罪予防をとおして命の大切さを広める事業	P7
町内会の防災訓練を通じた地域住民同士の支え合い推進事業	
“鬼まつり”キャンドルフェスタによる世代間交流事業	P8
地場産の材料を使った健康に役立つ料理教室事業	

③福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

視力障がい者に対する広報等朗読吹き込み事業	P9
布の絵本・遊具制作事業	
点訳を通じた視覚障がい者の生活サポートと市民の普及・啓発事業	P10
視力障がい者へのパソコンサポート事業	
視力障がい者へのガイドヘルプ支援事業	P11
要介護者対象、衣類のリフォーム事業	
オカリナ演奏慰問事業	P12
ノルディックウォーキングを通じた健康推進事業	
整膚の施術や講座開催による健康維持・増進のボランティア事業	P13
鷺別小学校区子ども見守り広報啓発事業	
福祉施設への訪問フォークソング演奏事業	P14
地域における読み聞かせ活動を通じた交流及び子育て支援事業	

④きずなづくりを進めるための多様なネットワークづくりのための取り組み

町内会における助け合い推進事業（ご近所同士の福祉ネットワークづくり推進事業）	P15
--	-----

⑤地域福祉を支える社協の基盤強化のための取り組み

デイサービス利用者への介助サポート事業	P15
---------------------	-----

登別視力 障害者協会

団体紹介

視力障がい者の社会参加をめざし、会員自らが積極的に障がい者への理解を深めるための啓蒙活動を行っています。

主に「障がいに対する理解を深める体験活動」などを行っています。

助成額

60,000円

①

市民の福祉に対する
関心や意識を高める
ための取り組み

●視力障がい者への理解を深める啓蒙事業



視力障がいについての理解を深めるため、ボランティアセンターで行っている学校や団体等に福祉の心を育てる「出前福祉講座」に協力しました。

また、ふれあいフェスティバルや障害者週間記念事業等に協力し、一般市民を対象に障がいについて広く啓蒙活動を行い、多くの方に関心・理解を持ってもらいました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様から頂いた助成金は、主に「出前福祉講座」で使用する資料や啓蒙活動のチラシ作成といった消耗品費として使用させていただきました。

出前福祉講座や啓蒙活動では、視力障がい者自らが日常生活の説明やガイドヘルプ体験などを行うことにより、深く障がいについて理解してもらうことができ、皆様からいただいた助成金のおかげで、よりよい活動を行うことができました。寄付者の皆様誠にありがとうございました。

登別市 障害者福祉 関係団体 連絡協議会

団体紹介

私たちは市内の障がい児者と親などの7団体で構成されています。主な活動として、地域の方々に「障がいについて」知って頂き、お互いに理解し合い「だれもが住みよいまち登別」を目指し啓発活動や交流を目的に活動しています。

助成額

60,000円

①

市民の福祉に対する
関心や意識を高める
ための取り組み

●「障害者週間」記念事業を通じた障がいに対する 理解や交流を深める事業



「障害者週間」記念事業では製鉄記念室蘭病院神経外科部長、林征志先生に「脳卒中」について講演をいただいた他、幌別西小学校5年生の皆さんに出前福祉講座で障がいについて学んだ際の体験発表や明日中等教育学校合唱部の皆さんによる合唱、日本工学院北海道専門学校6名の学生にペットボトルキャップアートの制作協力をいただき事業を実施しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

「障害者週間」記念事業では、今までで一番多くの方にご来場いただき、事業の目的である“障がいについての啓発活動や理解を深める”ことができました。

また、その他の事業では自分達も学習しながら地域の方々に障がいについて知ってもらい交流してふれあうことで、一層の理解を深めることができました。

これも寄付者の皆様による心のこもった募金のおかげです。寄付者の皆様どうもありがとうございました。

登別肢体 不自由児者 父母の会

団体紹介

主に手足の不自由な子どもたち(肢体不自由児者)と家族の会です。交流や外出など、社会参加を目的に障がいのある子ども達が楽しく体験できるレクリエーションや活動を実施しています。

助成額

40,000円

①

市民の福祉に対する
関心や意識を高める
ための取り組み

● 肢体不自由児への理解と地域参加を図るための交流事業



主に手足の不自由な子ども達や重度障がいを抱える人とその家族が社会参加できるように、地域住民を交えたレクリエーションや交流会等を実施しました。

また、社協事業や地域で行われている催し物にも参加し、障がいに対する理解を広めることができました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんから頂いた助成金は、会や障がいについて啓発するためのチラシの印刷代や交流会を行なう際の材料費、案内郵送代などとして活用させていただきました。

毎年、助成金を受けて地域の方も交えながら交流事業を行なうことで地域住民の障がいに対する理解と支援の輪が少しずつ広がっているように感じます。

今後も多くの市民の方が障がいの理解を深められるように活動していきたいと思えます。寄付者の皆様ありがとうございました。

障がい児 親子の会 ぽぽくらぶ

団体紹介

発達に遅れのある子どもとその家族が週に1回集まり、活動を通して、子どもの経験を増やし成長を促す活動を行なっています。また、親子の交流を通し余暇活動も行います。

助成額

45,000円

①

市民の福祉に対する
関心や意識を高める
ための取り組み

● 障がい児とその家族の交流する場づくりと

子育て相談サポート事業



毎週水曜日、主に鷺別公民館にて「遊びの広場」を開催しました。親子の交流、療育や発達の相談、勉強会の開催等を行うことで、安心して遊べる場所を提供し、親の心身の負担軽減を行ないました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

本会は、平成28年をもって14周年を迎えました。登別市民との交流も大切にしています。毎年のご支援感謝しております。

「きずな」を感じ活動することで子ども達のたくさんの笑顔が生まれています。毎週水曜日の午後、鷺別公民館で活動していますので遊びに来てください。寄付者の皆様本当にありがとうございます。

登別 手話の会

団体紹介

毎週火曜日18時半から「のぼりん」にて例会を開き、手話を学んでいます。その他、市民への手話の普及を目的に小学校や他団体から依頼を受け、手話講習会を開催しています。

助成額

40,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●手話交流会開催のための事業



市民への手話の普及と聴覚障がい者への理解を目的に青葉小・富岸小・若草小・幌別西小へ出向き、4年生以上を対象にした手話講習会を開催しました。

ふれあいフェス・市民活動交流フェス・ぬくもりのある手話フェスにおいて手話講習会を開催したり、手話を身近な言語として認識してもらえるよう手話歌を発表しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金のおかげで、小学校での手話講習を行え、子供達に手話や聴覚障がいに対する理解を深めることが出来ました。

また、市内の行事に協力し、行事参加者に手話歌を覚えてもらうなど、手話の普及に努めることができました。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別市 手をつなぐ 育成会

団体紹介

登別市手をつなぐ育成会は、知的・発達障がいのある子どもやその親と支援者たちがお互いに協力し合い、子ども達が地域で安心していきいきと暮らせるよう、障がい児者の社会参加を目的とした余暇活動などを行っています。

助成額

25,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●知的・発達障がい者の社会参加を見すえた 余暇活動・ボランティア育成事業



知的や発達の障がいのある子どもが今後大人になったときにこの登別で安心して暮らしていけるボランティアを増やして行きたい！そんな想いから、まずは子ども達の障がいについて理解してもらうことを目的に交流会を開催しました。

市民やボランティアに興味がある方を対象に呼びかけ、当日は24名の当事者やボランティアさんが参加してくれました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

交流会を通して、ボランティアさんが障がいをより深く理解することができ、障がいの有無に関係なく、楽しんでもらうことで共生の意識が芽生えることができました。

寄付者の皆さんから頂いた助成金は主に交流会にボランティアさん呼び込むためのチラシやポスターの作成・印刷、その他交流会当日にかかる資料や消耗品として使わせていただきました。寄付者の皆様誠にありがとうございました。

登別市 手をつなぐ 育成会

団体紹介

手をつなぐ育成会は知的発達障がいのある子どもを持つ親の会です。主な活動は余暇活動(室蘭夜景バスツアーや果物狩りなど)でボランティアと一緒に活動しながらお互いに理解を深め社会体験をしています。

助成額

20,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●知的・発達障がい児者の卒業や成人を祝う交流事業



障がいのある子どもたちの卒業と成人を祝う会をボランティアと一緒に行いました。

当日は、お食事とカラオケをし、交流を持つことで障がいについて深く理解をってもらうことを目的として行いました。

また、親亡き後も地域で安心して暮らしていただけるよう、障がいのある子ども達の障がいを理解しサポートしてくれるボランティア育成を行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

障がい児者とボランティアがお食事、カラオケ、ミニゲームを一緒に行い和気あいあいと交流することで、とても有意義な1日を過ごすことができました。交流を通して障がいについて理解が深められました。

また、この様な場をいただきましたことに感謝申し上げます。寄付者の皆様ありがとうございました。

バリアフリー ネットワーク つばさの会

団体紹介

つばさの会は2001年1月1日に発足し、本年度で16年が経ちました。

心身にハンディキャップを持つ方とその家族、介護者そして市民と主にハートバリアフリーが育つ町を目指して活動しています。

助成額

47,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●障がい者への理解を求め、市民との絆を深めるバリアフリー実践学習事業



つばさの会の目的である、「障がい者やその家族・市民と共に支え合い協力して活動する」という理念のもと、8月7日に桐木農園での市民交流会を行いました。当日は、車椅子の方が3名に対して、多くのボランティアに協力していただきました。

また、市内施設のバリアフリー調査や当会ホームページを運営し、障がいに対して理解を深める活動を行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様からの助成金は、主に市民交流会にかかる会場費や消耗品費、当会ホームページの運営費などに活用させていただきました。助成金のおかげで、毎年様々な方へ障がいに対する理解を深め、より良い活動を行う為の財源として活用させて頂いております。寄付者の皆様ありがとうございました。

室蘭・登別 心身障がい者 職親会

団体紹介

登別、室蘭の障がい者に対して理解のある事業主有志が中心となり設立された団体です。

障がい者の雇用の促進や自立に向けた啓発を目的に、障がい者の各種雇用促進事業などを行っております。

助成額

50,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●心身障がい児者の理解を深める為の交流と広報事業



障がい者の理解と激励を目的に、10月23日にスポーツ交流会を実施しました。

交流会では、ボーリング大会を行い、障がい者や支援者が一緒に汗を流し交流しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様から頂いた助成金は、主にスポーツ交流会を行なう会場費として活用させていただきました。

また、平成29年度もこのような事業を実施する予定ですので、是非地域の多くの方々に参加していただき、スポーツを通じた交流を通して、1人でも多くの方が障がいに対する理解を深めていただければと思います。寄付者の皆様ありがとうございます。

登別聴覚障 がい者協会

団体紹介

健常者と聴覚障がい者がコミュニケーション等を図り、交流を深め、互いが理解し合えるための手話学習会を毎週水曜日に行なっています。

助成額

15,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●手話学習会を通じた聴覚障がい者との交流事業



手話学習会を毎週水曜日を実施する他、第1回ぬくもりのある手話フェスティバルを開催し、市民など約40人が参加しました。

平成28年4月1日に施行された「登別市ぬくもりのある手話条例」に基づき多くの住民が手話を知り、聴覚障がい者と健常者の交流の場を広げることができました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金を活用して多くの手話学習会を開催することができ、市内の方々へ手話の普及と障がいについての理解を深めることができました。寄付者の皆様ありがとうございます。

登別回復者 クラブ ひまわり サークル

団体紹介

本会は、精神障がい当事者とボランティアで活動している会です。精神障がいの者のグループ活動を通じ、友人関係や、自立性、協調性を養い社会参加及び社会復帰を目指して活動しています。

助成額

15,000円

- ① 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

●精神障がい者への理解を深める交流事業



統合失調症の方を中心にフリーミーティングを行い、日常生活の楽しかったことや悩み等を全員で話し合ったり、グループ活動を通じ社会見学、研修等を行い友人関係や自立性、協調性を養い、社会参加及び社会復帰を目指し実施しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

日頃より、当活動へのご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。社会見学等では多くの方が参加され、様々な知識の習得につながりました。助成金は、主に社会見学を行う際の案内郵送代や資料作成費、フリーミーティングを行う際の交通費等として活用させて頂きました。今年度におきましても社会復帰を目標に頑張っていきたいと思っております。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別市 食生活改善 推進員協議会

団体紹介

「私達の健康は私達の手で」というスローガンのもとに、栄養、食生活の改善を地域に浸透させ市民の健康増進に寄与するとともに、会員の親睦を図ることを目的としている協議会です。

助成額

34,000円

- ② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

●男の料理教室事業



月に1回、親子食育料理教室、地域の栄養教室に向けての試作料理の勉強をしています。また、うす味の定着、食習慣改善を目的に男の料理教室を行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金を活用して、普段料理に慣れていない男性に料理の楽しさやバランスのとれたメニュー等を覚えていただきました。皆さん楽しく料理を作り、又、うす味に慣れてきたみたいです。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別更生 保護女性会

団体紹介

昭和56年5月に設立し、現在会員は49名。罪を犯した人や非行をした少年・少女の立ち直りを助け、犯罪や非行の無い明るい社会づくりを支援するために立ち上がった団体です。

助成額

54,000円

② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

●犯罪予防をとおして命の大切さを広める事業

2017年(平成29年)3月28日(火曜日) (2)

登別更生保護女性会(廣瀬淑子会長)が主催するきずな事業講演会が30日午後1時半から、登別市富士町の市民会館で開かれ、室蘭市民斎場雲上閣の藤井幹久会長が「終活と生命の伝達」をテーマに講演する。参加無料。来場を呼び掛けている。

会員を対象に毎年開催していたが、「貴重な講演を広く聴いてもらおう」と、初めて広く市民に開放する。同会が参画する社会を明るくする運動で命の大切さを訴える中、終活に焦点を当てた。藤井氏は全国の葬儀社による日本トータルライフ協会理事などを務める。時間は午後3時まで。希望者は直接会場へ。問い合わせは廣瀬会長、携帯電話090・6872・2835へ。(鮎子理人)

「終活と生命の伝達」というテーマで講演会を実施しました。当日は、雲上閣会長藤井氏より、「必ず訪れる最期をどのように迎えるのか。」ということを講話いただきました。その他に、「今を大切に生きてください」というリーフレットを市内小・中・高校生を対象に配布し、命の重さの大切さを提唱することができました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、講演会を実施する際の講師謝礼金、リーフレットや資料を印刷する際の消耗品費などとして活用させていただきました。私たちは、犯罪や非行の無い社会を目指し、日々活動していますが、やはり地域の方々へ啓蒙活動していかないと地域に浸透していきません。そのため、助成金は私たちの活動の幅を広げる大切な財源として活用させて頂いております。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別市 連合町内会

団体紹介

単位町内会の自主性を尊重し、市内単位町内会のパイプ役として町内会会員相互の交流、情報交換、研修会などを通して安心・安全な地域づくりを推進しています。

助成額

100,000円

② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

●町内会の防災訓練を通した地域住民同士の支え合い推進事業



単位町内会において、防災意識を高める為の避難訓練や防災研修会・応急手当講習会を実施しました。特に避難訓練では、障がい者世帯にも参加を呼び掛け、災害時に住民同士が支えあえるような意識づけが出来る訓練を実施しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様から頂いた助成金は、各地区連合町内会でされる災害に備える為の防災訓練等を通して、いざという時に的確な行動を取ることや、災害時だけではなく平時でも地域ぐるみで助け合うことの大切さを広めることができました。また、95町内会のうち79町内会が自主防災組織に加入してもらうことができました。寄付者の皆様ありがとうございました。

NPO法人 ライフ サポート

団体紹介

高齢者や障がい者に対する買い物サポート事業や、子ども向けイベント等を行い、地域のサポートする人・される人がお互い協力し合うことで、より良い地域社会を目指す活動を行っています。

助成額

30,000円

② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

● “鬼まつり” キャンドルフェスタによる世代間交流事業



少子化や独居高齢者が多くなった地域社会の中で、子どもからお年寄りまで楽しく交流できる場所づくりを目的に会員が中心となり、地域の人々とペットボトルキャンドル作りを行いました。

今年で10年目となる本事業ですが、親子連れや独居高齢者と毎年多くの人々が参加し、楽しんでくれた冬のイベントでした。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、花火やキャンドルのローソクといった消耗品などに活用させていただきました。

毎年、12月中旬より若草公園にイルミネーションを点灯し、地域の人々とキャンドル作りを行っています。いつもは、ペットボトルに絵を描いておりましたが、今回はシール張りを行い、ステンドグラス風に素敵に仕上がりました。また、寒い冬空にあがる花火とキャンドルで幻想の世界を感じてもらうことができました。寄付者の皆様ありがとうございました。

ボランティア 花つなの会

団体紹介

毎月1回の例会を開き地域の方から収集した使用済み切手を整理し、整理した切手を聴導犬協会に寄付する活動を行なっています。

また、6月と10月には地場産の食材を使ったヘルシー料理教室を開催しています。

助成額

14,000円

② 市民が主体的に地域の問題を考え解決していくための取り組み

● 地場産の材料を使った健康に役立つ料理教室事業



地域の様々な世代を対象にした料理教室を開催し、参加者同士で料理をしながら世代間交流を行いました。

また、子育て中の親や家族に、食べることの大切さを意識していただき、食を通して健康を守ることを知っていただくため、地場産の材料を使ったヘルシー料理を作り、参加者同士交流しながら料理を楽しんでいただきました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんからいただいた助成金は、料理教室で使用するレシピの印刷代、活動にかかる交通費として活用させていただきました。

料理教室への参加者も数を追うごとに増えていき、何度も参加される方もいて、交流の輪が広がると共に、世代間交流や情報交換が行われる良い料理教室が行なえております。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別朗読ボランティアの会

団体紹介

視力障がいなどへ、広報やその他関係書類を録音テープへ吹き込む活動を行っています。月1回の例会、勉強会では、滑舌・発音などに力を入れ、技術の向上を図る他、福祉施設へ交流訪問なども行っています。

助成額

70,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●視力障がい者に対する広報等朗読吹き込み事業



市内の視力障がい者を対象に「広報のぼりべつ」や「地域安全ニュース」、「身体障害者新聞」などを朗読し、テープに吹き込む活動を行いました。

また、年に3回、朗読の講習会を開催し、市内の方にも朗読に触れてもらったほか、高齢者施設において朗読を通じた利用者さんとの交流活動を行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、活動を行う上で必要な事務用品や、講習会などを行う際の資料印刷費、切手やハガキ代、講習会を開催するための講師謝金などに活用させて頂きました。

私たちは、視力障がい者に少しでも聞きやすい朗読が出来るよう勉強会等も行っています。

このような活動を行えるのも、募金に協力いただいた方々のおかげです。寄付者の皆様ありがとうございました。

布の絵本ボランティアの会

団体紹介

本会は、布の絵本や遊具を製作しています。

製作した遊具などは、主に町内会や老人クラブの行事で使っていただいたり、しんた21のキッズルームを利用する子どもたちにも楽しく使ってもらっています。

助成額

45,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●布の絵本・遊具製作事業



社会福祉協議会や、登別消費者協会などの行事に参加協力し、製作した布の絵本や遊具の展示を行うほか、市内小学校、図書館、のぞみ園へ遊具などを寄贈しました。

町内会やボランティアの方に布の絵本、遊具の貸し出しも行なっています。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

寄付者の皆さんからいただいた助成金は、絵本や遊具・小物などを作るためのフェルトや布、糸などの材料を買う為、使わせていただきました。

会員は10名ほどですが、和気あいあいボランティアを楽しませていただいております。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別市 点訳赤十字 奉仕団

団体紹介

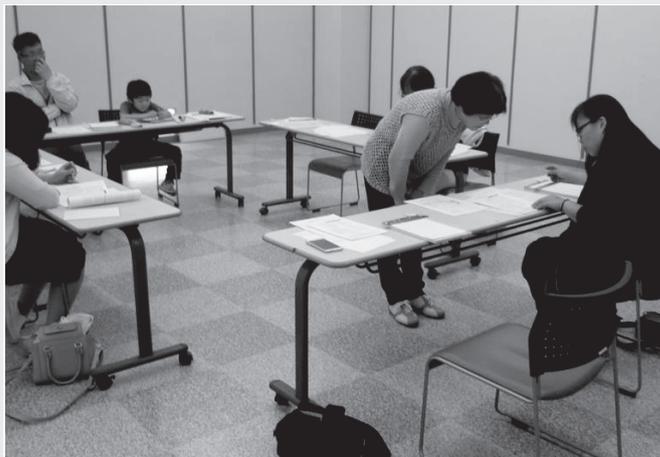
昭和61年3月1日に設立。毎週水曜日10時～15時にしんた21にて、視力障がい者に対して点訳を通じた情報提供を行っています。また、小説などを点訳し、しんた21内展示図書室に蔵書しています。

助成額

60,000円

③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

● 点訳を通じた視力障がい者の生活サポートと市民の普及・啓発事業



市・社協、各団体からの点訳に応じ、視力障がい者に対して点訳を通じた情報提供を行いました。

また、初心者点訳講習会を毎月第2・4土曜日にショッピングセンターアークス2階で開催し、毎回5名の受講者に点訳を教えることが出来ました。

なお、中途失明者に対する点字指導やプライベート点訳活動等を行い、視力障がい者に対する点訳を通じた情報提供を行いました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんから頂いた助成金は、主に点訳活動にかかる消耗品や器具の購入費、講習会を行う際に使うテキスト代等に活用させていただきました。そのおかげで、年間42タイトル6,718ページの点訳を行うことができ、視力障がい者に情報提供することができております。

また、初心者点訳講習会を実施して受講された方から、2名が正団員となり、視力障がい者へ共に情報提供する仲間が増えました。点訳に興味のある方、私たちの活動に参加してみてください。寄付者の皆様ありがとうございました。

パソコン ボランティア プラザ登別

団体紹介

登別市内及び近郊に居住する障がい及び高齢者のパソコン活用のサポートや要約筆記奉仕員の派遣を行い、障がい者や高齢者の情報バリアフリー・社会参加を支援することなどを目的に活動しています。

助成額

65,000円

③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

● 視力障がい者へのパソコンサポート事業



毎月第1土曜日しんた21でパソコンの個人指導を実施する「オープンサポート活動」、毎月第1月曜日のぼりんでテーマに沿ったパソコン講座を実施する「オープン事業」、市内近郊の各種行事に赴いて聴覚障がい者へ講演者などの話をパソコンで入力してスクリーンに文字を映し出し、聴覚障がい者の社会参加を支援する「パソコン要約筆記者派遣」などを行いました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、オープンサポートやオープン講座、訪問サポート（外出することが難しい方へのパソコンサポート）、要約筆記等の資料作りに必要な用紙やインク等の購入、ポケットwifiやプロジェクターの賃借料、また、主に訪問サポートを行う際、個人宅間の交通費として活用させていただきました。

パソコンを購入しても使い方がわからない等困っている障がい者や高齢者に大変喜ばれております。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別 ブラインド ボランティア の会

団体紹介

登別視力障害者協会の諸事業に対して会員のガイドヘルプを行なうとともに、視力障がい者のガイドヘルプの方法について講習会を行なっています。

視力障がい者の社会参加とノーマライゼーションを目指し活動しています。

助成額

33,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●視力障がい者へのガイドヘルプ支援事業



登別視力障害者協会における各種行事で当事者に対するガイドヘルプを行なうほか、当事者が外出する際、必要に応じてガイドを行ないました。

また、出前福祉講座やボランティア体験事業にも協力し、視力障がい者の社会参加とノーマライゼーションをめざし、障がいに対する理解と、ガイドヘルプの普及に努めました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、当事者をガイドする上での交通費やガイドを普及するために必要な消耗品購入に活用させていただきました。

これからも視力障がい者に対する理解の促進と自立した日常生活、特に外出歩行が自由に行なえるように支援活動の輪を広げていきたいと思っております。寄付者の皆様ありがとうございました。

ハンズ・ メイト

団体紹介

住宅で不自由な生活を送る方々の生活の衣類に関して快適な生活を送れるようズボンやジャージの裾上げ、ファスナーの取り替えなどを行っています。また、衣類を着脱しやすいようにする衣類リフォームの相談も受けています。

助成額

37,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●要介護者対象、衣類のリフォーム事業



身体に障がいのある方や在宅介護を行っている方から衣類リフォームの相談を受け、衣類を脱ぎ着しやすいよう衣類のリフォームを行いました。

主な作業内容としては、ズボンの脇づめ、丈づめ、Tシャツの袖丈づめ、ズボンのファスナーの取り替えを行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんの温かい思いがこもった助成金を大切にに使わせていただき、活動を通して地域の方々へ衣類のリフォームという形で還すことが出来ました。寄付者の皆様ありがとうございました。

サウンズ ・パワー

団体紹介

音楽ボランティアユニットとして2003年結成。「いい音、感動、笑い」をモットーに、各種イベント、施設においてオカリナを使用した出張ライブを実施。

助成額

10,000円

- ③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●オカリナ演奏慰問事業



オカリナ慰問演奏を通して市内各種行事に協力しました。実績について次のとおりです。

7月16日 わくわく広場のぼりべつ(マリパークニクス前広場)

10月23日 サウンズパワーライブin登別(婦人センター)

11月 3日 登別カルチャーフェスティバル(総合体育館)

11月26日 プラタナスフォーラム

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様からいただいた助成金は、主に慰問活動にかかる交通費や事務用品、写真代、文書郵送料等に活用させていただきました。寄付者のみなさんありがとうございます。

登別 ノルディック ウォーキング 愛好会

団体紹介

ノルディックウォーキングは、リハビリからアスリートレベルまでの広範囲に対応できるウォーキングスポーツです。

要望に応じて、町内会や老人クラブ等に、無料でインストラクターを派遣します。

助成額

15,000円

- ③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●ノルディックウォーキングを通じた健康推進事業



6日に1回の頻度で、市内10か所の拠点から、町内会や団体などに参加を呼び掛け、3～5kmのコースでノルディックウォーキングを行いました。

また、冬の期間は、市民活動センターで脚力が落ちないように、正しい姿勢で歩く為のストレッチなども行いました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんから頂いた助成金のおかげで、多くの方が本事業に参加し、ノルディックウォーキングを通じた健康維持・増進を市内に推進することができました。

毎回、多くの地域の方と汗を流し、ノルディックウォーキングを通じた健康推進を図る事ができました。

この活動が地域に広まり、要支援・介護になる方が1人でも少なくなることを願っています。寄付者の皆様ありがとうございました。

登別整膚ボランティア会

団体紹介

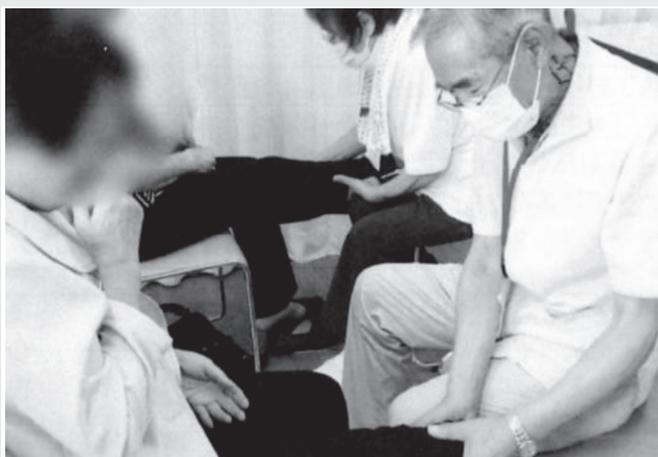
整膚は、皮膚を優しくつまむことで皮膚の血液などの流れが促され、自然治癒力の向上し、健康・美容などに効果があります。現在、この整膚の資格を活かし、高齢者施設やサロン等でボランティア活動をしています。

助成額

15,000円

- ③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

● 整膚の施術や講座開催による健康維持・増進のボランティア事業



毎月第3土曜日に市民活動センターにて「整膚ボランティア施術会」を開催し、併せて参加者の健康維持・増進のため、自分でできる簡単な施術方法のレクチャーを行ないました。

施術を受けた方から次のような声がありました。

「癒し効果」、「肩こり・膝痛・腰痛・筋肉痛の改善」、「疲れ目、視力やドライアイの改善」、「難聴、耳鳴りや聴力の改善」、「術後の疼痛緩和」

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

整膚が一般に普及されていない中、様々な団体や町内会などから活動の依頼をして頂き感謝しております。

皆さまから頂いた助成金は、主に活動場所への交通費、リーフレットの印刷代、施術で使用するウェットティッシュや白衣のクリーニング代などといった事業費として、有難く使わせていただきました。寄付者の皆様ありがとうございました。

鷺別子ども見守りたい

団体紹介

不審者の出没に危機を抱き、数人の主婦が始めたパトロール活動が活動の原点です。現在は、鷺別地区連合町内会、民生委員などの協力も得て、青パトによる毎日の巡回パトロール、月2回の小学校付き添い下校など行なっています。

助成額

10,000円

- ③ 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

● 鷺別小学校区子ども見守り広報啓発事業



鷺別小・中学校生徒の下校パトロールや毎朝の見守り活動、夜間パトロールを行い、地域安全に関する問題点の把握及び資料化、広報啓発活動を行うことで地域の防犯意識の強化を地域に浸透させることを目的に実施しました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんから頂いた助成金は、地域犯罪の問題点を地域に広め、防犯意識を高める為の消耗品や郵送料といった事務経費として活用させて頂きました。

この活動を行なうことで、不審者や犯罪者が昔よりも減少し、子どもを始めとする住民が安心して生活できる環境整備に繋がっております。寄付者の皆様ありがとうございました。

TIO ガチョン

団体紹介

フォークソング楽器を楽しむ仲間が集まり音楽ユニットを結成。主に、登別市内の高齢者介護施設・障がい者施設・ふれあいサロン・会食イベント等で福祉デリバリー演奏会を目的として活動しています。

助成額

10,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●福祉施設への訪問フォークソング演奏事業



フロンティア登別や、いぶりたすけ愛、アンデルセンの丘などといった市内の福祉施設やイベントに出向き、フォークソング演奏を行ないました。

私たちの演奏を聞いてくれた人が喜んでもらえるよう演奏の構成なども工夫して活動しました。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆さんから頂いた助成金は、主にフライヤーや参加者が見る歌詞カード作成費というような消耗品として活用させていただきました。

ボランティア活動は費用がかかります。しかし、このような助成金をいただいて活動することで、自分達が幅広く活動することで出来るようになりとても感謝しています。寄付者の皆様ありがとうございました。

おはなし りぼん

団体紹介

私たちは、絵本や物語を多くの人に紹介し、豊かな心を育めるような読み聞かせの活動を行っています。

読み聞かせに足を運んでくれる親子の笑顔に支えられ、「出来る事を、出来る時に、無理せず」をモットーに活動しています。

助成額

17,000円

③

福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

●地域における読み聞かせ活動を通じた交流及び子育て支援事業



平成28年度は、市内の様々な場所で読み聞かせを行いました。活動内容と場所については、次の通りです。

栄町・鷺別・幌別東保育所、鷺別小学校やサロンでのお話し会に協力。

中学校での図書ボランティア・卒業生に対する読み聞かせ。

社協ふれあいフェスティバル協力。

図書館まつり参加。

●寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、読み聞かせを行う際に使用するパネルシアターや絵本等の購入費、紙芝居等を作成する際の材料費などに活用させていただきました。

読み聞かせを行う上で、いろいろな読み聞かせのタイトルがあると読み聞かせを聞く方も満足してもらえます。寄付者の皆さんありがとうございました。

登別市 連合町内会

団体紹介

単位町内会の自主性を尊重し、市内単位町内会のパイプ役として会員相互の交流・情報交換・研修会などを通じて安心・安全な地域づくりを推進しています。

助成額

100,000円

- ④ きすなづくりを進めるための多様なネットワークづくりのための取り組み

● 町内会における助け合い推進事業 (ご近所同士の福祉ネットワークづくり推進事業)



第3期地域福祉実践計画「きすな」の取り組みが地域に浸透していく為、各小学校区にて福祉座談会や世代間交流などを実施し地域福祉の課題解決のためにネットワークづくりや啓発活動を実施しました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

皆様から頂いた助成金により、市内の各校区で「きすな事業」が活発に行われたことにより、地域住民の交流の輪が広まり、お互いの安否確認などの波及効果が生まれてきました。今後も地域の方が安心して住む事のできるまちづくりを目指して行きたいと思っております。寄付者の皆様ありがとうございました。

在宅福祉 ボランティア とわの会

団体紹介

しんた21内デイサービスセンターで利用者さんとの交流を行い、デイサービスでの一日を満足して生活できるよう利用者さんのサポートを行っています。

助成額

25,000円

- ⑤ 地域福祉を支える社協の基盤強化のための取り組み

● デイサービス利用者への介助サポート事業



デイサービスセンター利用者さんとの交流や見守り、入浴後の整髪の他、行事を行う際の付添なども行いました。またふれあいフェスティバルなどでは利用者さんの介助サポートを行うことで利用者さんに施設での1日を楽しんでもらうことに努めました。

● 寄付者へ向けた感謝の“ありがとう”メッセージ

助成金は、主に活動を行う際に使用する手帳やボールペン、コピー用紙といった消耗品に活用させていただきました。

毎年、本事業を行なう上で、助成金は貴重な財源なので、会員一同寄付者の方々に感謝しております。また、より良い活動が行えるよう会員一同頑張りますので応援の程よろしく申し上げます。寄付者の皆様ありがとうございました。

きずなのまちづくり助成事業 平成28年度事業報告集

発行／社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
〒059-0016
北海道登別市片倉町6丁目9番地1
登別市総合福祉センターしんた21内
TEL 0143-88-0860 FAX 0143-88-4546
HP／<http://kizuna-shakyo.jp>
Email／info@kizuna-shakyo.jp